

令和5年度～令和7年度（第15期）2／3年次

**道徳教育計画訪問 実施要項**

～「ぎふ いのちの教育」推進重点～

～児童生徒・学校・地域の実態を踏まえた意図的・計画的・発展的な道徳教育の推進～

**1 第15期の「道徳教育計画訪問」の趣旨と重点****(1) 趣旨**

第15期を迎えるにあたり、これまで各学校では、新型コロナウイルス感染症が学校や地域、児童生徒に大きな影響を与える状況下においても、万全の感染症対策を講じつつ児童生徒の豊かな心を育む様々な取組が実践されてきた。

「令和5年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査」において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対して、「当てはまる」と回答した岐阜県全体の割合は、小学校で76.0%（令和4年度調査75.0%）、中学校で73.3%（令和4年度調査74.7%）とコロナ禍以前と同様に高い傾向にあり、コロナ禍だからこそ人の役に立とうとする心を育む教育活動が展開されていると考えられる。

一方、各学校で教師による積極的な価値付け、児童生徒相互によるよさ見つけ等、様々な工夫ある取組が展開されているものの、「自分にはよいところがあると思いますか」という設問に対して、「当てはまる」と回答した岐阜県全体の割合は、小学校で42.1%（令和4年度調査9.4%）、中学校で39.2%（令和4年調査38.1%）と、依然として小・中学校ともに4割程度となっている。また、「将来の夢や目標をもっていますか」という設問に対しては、小・中学校で前年度を下回り、小学校で58.7%（令和4年度調査59.1%）、中学校で39.8%（令和4年度調査40.1%）と、夢や希望がもちにくくなっている実態が分かる。感染症の影響による仲間と関わる活動の減少、先行き不透明な社会情勢を起因とした将来への不安等、様々な要因が推測されるが、このような状況だからこそ、児童生徒が道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら深く考える道徳教育の推進が求められる。

また、「令和3年度児童生徒の問題行動等調査結果」において、全国の小・中学校で不登校児童生徒数や、自ら命を絶った児童生徒数も増加しており、深刻な問題となっている。増加の要因の一つとして、自己有用感を感じにくくなっていることや、将来への夢や希望がもちにくくなっていることが考えられる。児童生徒のこうした状況からも、人と人との心の距離を近くし、児童生徒の自己有用感を高めることや自他の生命を尊重すること、将来への夢や希望を育むことが道徳教育に求められていることから、令和5年度から令和7年度の「第15期」の道徳教育計画訪問を実施する。

**(2) 重点目標**

**道徳教育の目標・重点内容及び育てたい資質・能力を中学校区で共有し、9年間を通して、道徳科を要とした道徳教育の充実を図る。**

・3か年で美濃地区管内すべての中学校区を訪問する。

\*令和5年度～7年度（第15期）訪問一覧表参照

**2 訪問の内容****(1) 学校**

道徳科の授業の指導の充実	・道徳科とその他の教育活動を関連して捉えた道徳教育の推進
意図的・計画的・発展的な道徳教育の推進	・中学校区における道徳教育の目標、重点内容項目及び育てたい資質・能力の共有化 ・「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組の推進
「ぎふ いのちの教育」との関連を明らかにした道徳教育の推進	・生命を尊重し、夢や希望を育み、自己有用感を高める心の教育の充実

## ④ 道徳教育計画訪問

### (2) 市教育委員会

- ・市教育委員会は、校区の小学校、中学校の実情を把握し、道徳教育の充実を図る。

### 3 日程

- ・訪問日の日程は、**午後**を基本とする。

- ア 道徳教育推進教師等との懇談（校区や学校において重点とする内容項目、全教育活動を通じた道徳教育の推進状況、推進体制、指導計画等について）
- イ 特別公開授業（道徳科の授業）とその研究会（重点とする内容項目の具現に関連の深い道徳科の授業を公開する）
- ウ 小中9か年を見通した道徳教育についての協議会

#### 基本日程（例）

Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
<b>道徳教育推進教師との懇談</b> (13:30~13:50)		<b>道徳教育推進教師との懇談・協議会</b> (13:30~14:10)
<u>〈参加者〉</u> ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・重点とする内容項目、全教育活動を通じた道徳教育の推進状況、推進体制、指導計画等について		<u>〈参加者〉</u> ・中学校区の管理職又は教務主任 ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について ・重点とする内容項目、道徳教育の推進状況、推進体制、指導計画等について ・教育事務所から道徳教育についての指導・助言
<b>道徳科の特別公開授業</b>		
A・Bの場合 (14:00~14:45) または (14:00~14:50) Cの場合 (14:20~15:05) または (14:20~15:10)		
・重点とする内容項目の具現に関連の深い道徳科の授業を公開する。		
<b>授業研究会・協議会</b> (15:20~16:30)	<b>協議会</b> (15:00~15:40)	<b>授業研究会</b> (15:30~16:30)
<u>〈参加者〉</u> ・会場校の職員 ・中学校区の管理職又は教務主任 ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について ・公開授業を踏まえた中学校区における道徳教育について ・教育事務所から道徳科の授業の指導の充実及び道徳教育についての指導・助言	<u>〈参加者〉</u> ・中学校区の管理職又は教務主任 ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について ・中学校区における道徳教育について ・教育事務所から道徳教育についての指導・助言	<u>〈参加者〉</u> ・会場校の教員 ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・授業研究 ・教育事務所から道徳科の授業について指導・助言
	<b>授業研究会</b> (15:50~16:30)	
	<u>〈参加者〉</u> ・会場校の職員 ・中学校区の道徳教育推進教師 <u>〈内容例〉</u> ・授業研究 ・教育事務所から道徳科の授業についての指導・助言	

## ④ 道徳教育計画訪問

- ・ Bタイプにおいて、懇談、公開授業、研究会、協議会の順番を入れ替えてもよい。
- ・ 開始時刻等は、該当校の判断により決定する。
- ・ 上記以外の参加者については、中学校区の判断により決定する。
- ・ 懇談、公開授業、研究会及び協議会に、市教育委員会及び教育事務所指導主事が参加する。
- ・ 道徳教育推進教師は、「道徳教育全体計画」、「道徳科と他の教育活動との関連が分かる資料」を用いて、「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について話せるようにしておく。

### 4 協議会について

- ・ Aタイプで行う場合、公開授業の研究授業に偏ることなく、中学校区や各学校における道徳教育と、要としての道徳科の授業の両面について協議すること。
- ・ 協議会のテーマは、『自己有用感』『生命尊重』『夢と希望』に関する取組について」を位置付ける。学校区で話し合いたいテーマがある場合は、協議を2つに分けて実施する。
- ・ 当日の協議会をイメージし、何について協議するのか、めざす出口は何かを明確にしておく。
- ・ 当日の進行等については、美濃教育事務所の指導主事が行う。
- ・ 訪問日1週間前までに別記様式で報告する。
- ・ 「別記様式」には、以下の3つのことを記入する。

① 協議会のテーマ・・・テーマは、中学校区で相談して決定する。

(テーマ 例)

○「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について

- ・ 中学校区・各学校の道徳教育の目標と重点とする教育活動について
- ・ 各学校の児童生徒の道徳性と、義務教育9年間で目指す児童生徒の姿について

② 協議内容・・・テーマについて、何を協議するのか等、具体的に記入する。

③ 協議会の流れ・・・大まかな流れを記入する。出口を明確にしておく。

### 5 事前提出資料

#### 会場校

- ① 道徳教育全体計画
- ② 道徳科と他の教育活動との関連が分かる資料
- ③ 特別公開授業の学習指導案（【主題構成表】【学習指導過程】【他の教育活動との関連】は必須）
- ④ 別記様式（7 その他 記載例参照）

※ 特別公開授業についての学習指導案に、使用する教科書のコピーの添付は不要である。

→【著作権法第35条 授業以外で許諾なく複製・配布することは不可】

※ **訪問日1週間前までに、電子データもしくは紙媒体で提出する。**

◆電子データの場合

市教育委員会及び美濃教育事務所に送信

◆紙媒体の場合

市教育委員会へ1部、美濃教育事務所へ1部

### 6 当日資料

#### 会場校以外の学校

- ① 道徳教育全体計画
- ② 道徳科と他の教育活動との関連が分かる資料

※協議会参加人数分用意する。

## 7 その他

・「道徳科と他の教育活動との関連が分かる資料」について

→別葉、年間指導計画、学級における道徳教育計画等、第14期で作成したものを基に、学校の重点内容項目、育てたい資質・能力を育むために改善・改良をしたもの。形式は問わない。

・別記様式 記入例

別記様式			
第15期「道徳教育計画訪問」協議会内容			
道徳教育計画訪問日	令和 年 月 日	会場名	学校
〈協議会テーマ〉	① テーマ例 ・「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組について（必須） ・9年間を見通した道徳教育の目標及び重点項目の方向性について		
〈協議内容〉	② 協議内容例 ・自校における「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組内容や状況、成果と課題等を交流する。中学校区として大切にしていきたい取組を決める。 ・道徳教育全体計画、年間指導計画を用いて、各校の重点目標を交流し、9年間を見通した計画になるよう検討し、必要に応じて修正する。		
〈協議会の流れ〉			
内容	③ 協議会の流れ例 【司会：美濃教育事務所 指導主事 発表：道徳教育推進教師 協議：参加者全員】 1 各校の目標や重点、「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組の交流 道徳教育推進教師は、道徳教育全体計画をもとに、自校の「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関する取組内容や状況、成果と課題等を発表し、交流する。 2 今後の道徳教育の充実を図るための活動や取組の検討 参加者は、校区の各学校の取組等を共通理解した上で、9年間を見通した道徳教育推進の方向性や「自己有用感」「生命尊重」「夢と希望」に関して大切にしていきたい取組等を協議する。 3 まとめ 協議して決定したことをまとめる。 4 指導・助言 教育事務所・市教育委員会から		